

ガラスにまつわるエトセトラ

妖精の森ガラス美術館 三浦 和

現在開催中の女性ガラス作家二人展が10月14日（月祝）で終わり、10月16日（水）からは毎年恒例となった収蔵作品展「ひかりのかたち展」が始まります。この展覧会は毎年少しずつ増やしている収蔵作品を公開する展覧会で、今回で6回目になります。今年度は新たに安達知江さん、生島賢さん、明水さんご夫妻、平田友美さんの4名にウランガラス作品をつくっていただきました。

今回もそれぞれが得意とするモチーフ、技法で制作していただいています。ウランガラスでつくった「ももたろう」やハンドバッグ型の造形作品、絵をガラスに閉じ込めた作品や別の色を着色した作品など、多彩な新収蔵作品が一堂に会します。

この展覧会はすべてウランガラス作品を展示するため、展示ケース内の照明を紫外線ライトに替え、蛍光させて展示します。会期も来年3月下旬までの長期開催ですので、幻想的に光るガラス作品をこの機会にぜひ一度ご覧になってください。



ハンドバッグ型の造形作品



光るガラスの恐竜「スピノサウルス」

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話 (0868) 44-7888

令和元年度 シカ捕獲強化月間について

ニホンジカによる農林被害の軽減を図るため、鳥取県、兵庫県の県境域を対象に10月の1か月間を、シカ捕獲強化月間として設定しています。

本期間中に特に野山へ入山される方は、事故にあわないようご注意ください。

1. 捕獲強化月間 令和元年10月1日～10月31日

2. 区域 兵庫県、鳥取県に接する市町村

3. 対象種 ニホンジカ

お問い合わせ先

鏡野町産業観光課 担当：山崎・佐古

電話(0868)54-26887



「第20回森林を考える岡山県民のつどい」の開催について

環境の世紀にふさわしい森林の保全や美しい森づくりを推進するとともに、林業の振興と地域材の需要拡大を図ることを目的に「第20回森林を考える岡山県民のつどい」が開催されます。

今回は元高知県知事 橋本 大二郎氏を講師に迎えて「森林・林業の未来について」と題しての基調講演が会場内ペンタホールで開催され、恒例の苗木の無料配布、親子ふれあいコーナー（つるかごづくり、丸太コースター等）のほか、岡山県北のグルメのテント村も開催されます。みなさん奮ってご来場下さい。

日時 10月26日(土)

開 会 午前10時～10時30分
大会宣言 午前10時30分～10時40分
基調講演会 午前10時40分～11時40分
テント村 午前10時～午後2時30分

場所 津山市大田920番地 グリーンヒルズ津山（ペンタホールほか）
主催 森林を考える岡山県民のつどい実行委員会
共催 岡山県森林・林業活性化促進議員連盟、岡山県美作県民局、岡山県備中県民局、岡山県北3市5町2村

お問い合わせ先

森林を考える岡山県民のつどい実行委員会事務局（津山市議会事務局内）
電話 (0868) 32-2140